

渋谷区議会議員「佐藤まり」がお届けする 渋谷区の情報 ”女性が輝く渋谷のまち”

佐藤まり

区政レポート2022年 Vol.48

第一回定例会が2月22日～3月25日に開催されました。
 条例案11件、令和3年度補正予算案1件、令和4年度当初予算案4件、契約議案1件、
 その他議決議案5件、渋谷区監査委員の同意案件2件、人権擁護委員の諮問5件、報告案件
 1件が提案され、慎重審査の結果可決されました。
 令和4年度一般会計歳入歳出予算額は1,062億6,700万円で前年度比6.9%の増。(過去最大)
 国民健康保険事業会計等の3特別会計、489億5,421万9000円を加えた各会計の合計額は、
 1,552億2,121万9000円で、前年度比7.0%の増となっております。

新型コロナウイルス感染症対策

22億7000万円

新型コロナウイルス感染症がまだまだ猛威をふるうなか、
 第7波の到来かとも言われているが、ワクチンの第3回目の
 追加接種を確実に行うことと、5歳から11歳までの
 小児接種を実施している。希望する小児へのワクチン
 接種は、医師会及び医療従事者と協力し接種体制を整え
 感染拡大防止に取り組んでいる。区内では小児に重篤な
 副反応が現れたとの報告はまだないという。

ふれあい植物センター リニューアル

1億6900万円

リニューアル工事に向け休園中。
 令和5年7月に再開予定。
 植物園の鑑賞機能に、水耕栽培
 等の収穫体験やカフェ・各種イ
 ベントを展開する場を提供する。



デジタル地域通貨事業

2億7100万円

スマートフォンアプリを媒体とする区内の店舗で
 利用できる渋谷区独自の **デジタル地域通貨事業**
 デジタル地域通貨を
 導入。区民や来街者
 ・企業・行政等を巻き
 込み、渋谷区らしい
 持続的な産業振興を
 行う。
 例えば、プレミアム付き
 デジタル商品券の発行
 や「くみんの広場」で
 キャンペーンなどを実施。

渋谷区独自のデジタル地域通貨を導入することにより、区内の**商店街や中小企業等の活性化**を支援するとともに、**コミュニティ形成**を促進する。



令和4年度予算について

一般会計：1062億6700万円 / 昨年比6.9%増
 特別会計：489億5421万円 / 昨年比7.5%増

一般会計予算を10,000円に置き換えると

民生費	総務費
福祉の充実 4,586円	防災・地域振興・選挙 1,733円
土木費	教育費
住宅・道路・公園の整備 1,124円	教育・文化スポーツの振興 1,051円
衛生費	環境費
健康を守る 611円	良好な環境整備 520円
産業経済費	公債費
中小企業・商店街振興 164円	特別区債償還 101円
議会費	予備費
議会運営 68円	予備費 38円
諸支出金	合計
財政調整基金等 4円	10,000円

小中学校の女子トイレに生理用品の設置

238万円

経済的理由等から生理用品の購入が困難な「生理の貧困」
 が問題となっているが、佐藤まりのかねてからの提案で、
 学校トイレや保健室にて生理用品の設置が決まった。
 特に体のリズムが安定していない時期に急に生理用品が
 必要となる場合もあるが、安心して対応できるようになる。

ロシア政府に対し核兵器の使用と威嚇を中止することを求める決議

ロシアによるウクライナへの軍事侵略と核兵器使用の示唆によって、世界は深刻な核戦争の脅威にさらされている。ロシアは、通常兵器による反撃などに対しても、核兵器を使用すると言及しており、核戦争に発展しかねない危険な事態である。

プーチン大統領が、核戦力の特別警戒態勢命令を発令し世界を恫喝していることは、国連憲章に違反する暴挙である。

我が国は、原爆投下の惨状を身をもって体験した国として、再び広島、長崎の惨禍を繰り返さないために、ロシアによる核兵器の使用や威嚇は絶対に許さない。

よって渋谷区議会は、ロシア政府に対して、ウクライナからの即時撤退と核兵器の使用や核兵器による威嚇をやめるよう強く求める。以上、決議する。

デフリンピックの東京開催を求める意見書

「デフリンピック」とは、4年に1度、世界規模で行われる聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会であり、国際ろう者スポーツ委員会 (ICSD、CISS) が主催する障害者スポーツにおける最初の国際競技大会であり、「ろう者 (Deaf)+ オリンピック (Olympics)」の造語で「ろう者のオリンピック」という意味を持つ。

渋谷区議会は令和7年の東京招致を強く求める。として、令和4年3月25日 東京都知事あてに、渋谷区議会議長 齊藤竜一名で提出した。

恵比寿にある恵比寿様

古くから大漁追福の漁業神で、商売繁盛や五穀豊穡などももたらす福の神。七福神で唯一の日本由来の神。インドにも中国にもない日本の神。それが、えびす様。七福神の中でも、日本の土地や自然、日本人の心に、最も通じている福の神だと言えます。

七福神は、龍の背中の宝船に乗る姿がよく描かれています。龍も、日本では九頭龍伝承に見られるように、水を司り、心願成就の強い力を持つ点で、えびす様にも通じます。

その宝船で、右手に釣り竿を持ち、左脇に鯛を抱え、ふくよかな笑顔をたたえるのが、えびす様。「えびす顔」という言葉があるほどに、福をもたらす象徴的な神様なのです。(恵比寿神社の情報は区政レポート 29号に掲載しました。)

恵比寿駅西口にある恵比寿像
昭和50年に地元のライオンズ
クラブの協力で作られたようです。
ここは待ち合わせスポットであり、
珍しく賽銭箱が設置されています。



恵比寿ストア内のトイレ横



ビルの2階の端（恵比寿駅西口
を背にバスターミナルから右手
を見るとすぐわかります）



JR 下トンネルの壁画



次回第二回定例会は6月1日開催予定です。どなたでも傍聴できます。13階事務局にて手続きをして14階傍聴席へおいでください。

佐藤 まり 12月24日 生まれ 東京都渋谷区出身

血液型：A型 法政大学文学部卒業

卒業後、三菱電機株式会社・講談社を経て書道教室「古今の会」主幹となる。

ベジタブル・フルーツ Jr・マイスター。二男一女の母。

1995年、世界女性会議北京大会に渋谷区を代表して参加、「環境・教育・性・老後」を発表。

“めだかの会”、ケアコミュニティセンター“せせらぎ”等、地域でボランティア活動を実施。

四世代同居の100歳を過ぎた祖母を介護したことをきっかけに政治家を目指す。

連絡先：佐藤まり事務所

Tel：080-3173-3731 FAX:03-5350-1715

〒150-0013 渋谷区恵比寿 4-27-12

女性が輝く渋谷のまち



<https://satomamari.jp>

